



# 今後の教育方針は

近藤 武 議員

## 命を大切にする教育を柱に

教育長



▲小学校で行われた防犯教室

市として防犯の取り組みは。

**教育部長** 小中学校メー

ル配信システムにより、不審者情報等の情報配信や新入学児童に防犯ブザーを配布し、防犯啓発をしている。

今年度、新たに行われた防犯教室をどのよう

にとらえたか。

**教育部長** 大変好評で、

予算の範囲内で実施が可能ならば、大変有意義なものである。

市の教育についての進めていくのか。

**教育長** 少子化や高度情

報化社会、国際競争時代の中、これらに対応できる若者を育てることが、社会から学校に求められている。また、いじめや

不登校、情報モラルの問

題、交通事故や犯罪に巻き込まれる現実の中、子どもたちに、まず命を大

切にする教育を柱に据えた学校経営をしていく。心豊かでたくましく、し

なやかさを持った子どもを育て、将来、社会に貢献できる人間として成長させていきたい。

### 来年度予算編成は

編成方針は。

**総務部長** 新しい総合計

画の目標達成に向け、本市が直面している多様な課題に的確に対応できる施策を立案する。一般財源、特定財源の割合を確認し、適正な予算要求となるように課ごとの査定を実施し、当初予算を編成していく。

継続事業の検証は。

**総務部長** 各課に事務事

業の実施計画検証シートの提出、ヒアリングを実施、費用対効果を検証。成果重視の視点から、施策目標達成へ抜本的な見直しをする。

当初予算での積立金に目的を持たせることが重要では。

**総務部長** 将来の公共施

設の老朽化対策や更新費用のため、公共施設等総合管理計画を踏まえて計画的な公共事業整備基金への積み立てをしていく。

三党派からの要望書

を受け、子ども医療費助成の拡大と、市長のマニフェストの実行をどのように予算に反映させるのか。

**市長** 要望書の内容を精

査し、拡大することが持続可能であると判断できれば、当然検討して実行していきたい。マニフェストの予算への反映は、第2次愛西市総合計画との整合性を図りながら、継続性を加味し、予算に盛り込んでいきたい。基金、市債や有効財源を活用し、市にとってプラスになる予算編成をしていく。